

山口大学医学部附属病院から笑顔と情報を発信するコミュニケーションマガジン

# 山大病院だより

2016  
6月号  
vol.229



レポート 「看護の日」記念行事を開催しました



レポート

# 「看護の日」 記念行事を開催しました

今年も多くの来院者で賑わいました

5月18日(水)、外来棟において「看護の日・看護週間」にあわせた「看護の日」記念行事を開催しました。

1階ロビーで行われた記念式典では、田口病院長の挨拶に続いて、看護部の皆さんへ感謝の意を込めて病院長、岩村事務部長から猪上看護部長へ花束が贈呈されました。続いて、「看護フェア」と称して行った各病棟などの看護師力作の「力を入れて取り組んでいる看護」の紹介パネル、川柳、写真展の優秀作品が発表されました。式典後、2階において健康チェック、医療・

栄養福祉の相談、介護用品の展示、認定看護師による血糖測定、手洗いチェック、ハンドマッサージの実践指導などが行われ、多くの来院者で賑わいました。「小さな看護師さんコーナー」では、来院されたお子さんが白衣を着て記念撮影を楽しむ姿も見られました。

また、今年度は、熊本地震で現地に派遣された本院DMAT隊(災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チーム)の活動記録や本院で備蓄している非常食も展示されました。



ハンドマッサージ



手洗いチェックコーナー



ヤマミイといっしょに、ピース!



認定看護師による健康チェックは今年も盛況!

各部署の活動をパネルで紹介



小さな看護師さんコーナー



写真展示コーナー



栄養相談コーナー



血圧測定コーナー



DMATの活動状況をパネルで紹介

ホットなニュースをご紹介します

山/大/病/院 NEWS

NEWS

防火教育・訓練を実施しました

4月22日(金)に宇部中央消防署の協力の下、春季防火教育・訓練を実施し、田口病院長(自衛消防団副団長)をはじめ、新規採用・転入の看護師、医療技術職員、事務職員など約130名が参加しました。

初めに、「防災に関する心構え、危機管理」についての講話及び火災時の初期対応のDVDの上映があり、防火区画の意味、「通報」「初期消火」「避難誘導」の重要性と「自分のところは自分で守る」という自主防災の原則を学びました。

引き続き、レスキューマットによる搬送、屋内消火栓と消火器の操作訓練を行いました。特にレスキューマットの搬送は多くの参加者が体験することで、「自分たちが使用する設備」という意識が向上しました。

最後に、宇部中央消防署消防予防係長と医学部事務部長から、今回の訓練で得た意識・知識を持ち続けて日常業務に当たって欲しいと講評がありました。



レスキューマットを使用した訓練



## 就任のごあいさつ

を提供することにより、患者さんからの信頼を得ています。同時に、医師、看護師、検査技師など医療人の養成と生涯教育を行う教育病院であることはいうまでもありません。

山口大学医学部は、診療、研究と並んで、教育においても先進的な取り組みを行ってきました。医学部医学科では、医学教育の国際標準化の二環として、今年度から臨床実習をより長期間にしました。4年生の冬から6年生の夏休みまで病棟で実習をさせていただくようになり、特に、1月から7月の半年は5年生と6年生の2学年が同時に病棟で実習します。また、昨年度から病棟実習のみならず、附属病院のいろいろな診療部門で見学や実習をさせていただき、多職種が協力して附属病院の診療がなされていることを学修しています。保健学科でも看護学専攻の学生にとつて病棟が大切な学びの場所となっていますが、検査技術科学専攻の学生も検査部をはじめ、病棟でも実際に患者さんに接しさせていただいて、臨床検査の意義を現場で学修することができます。

医療の現場で、先輩スタッフはもとより、患者さんから直接学ばせていただくことは、将来の医療を担う学生にとつてとても大切です。今後とも、医学部へのご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。



山口大学大学院医学系研究科長  
山口大学医学部長  
山口大学医学部附属病院第3内科長

## 谷澤 幸生

平成28年4月1日付けをもちまして、山口大学大学院医学系研究科長及び医学部長に就任いたしました谷澤です。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。と申しましても、私自身、山口大学医学部に学び、昭和52年に入学以来、58年に卒業後も関連病院勤務、米国留学の約5年間を除き、医学部及び附属病院(第3内科)に籍を置き、皆さまにはたいへんお世話になっていきます。ありがとうございます。

医学部附属病院は高度な先進的医療を開発し、実践する山口県内唯一の特定機能病院です。高度で、安心、安全な医療



山口大学大学院医学系研究科  
器官解剖学講座 教授

## 中村 教泰

平成28年4月1日付で器官解剖学講座教授を拝命いたしました中村教泰(なむらみちひろ)と申します。着任にあたり山口大学医学部附属病院の皆様にご挨拶申し上げます。

私は昭和42年に兵庫県小野市で生まれました。平成4年に徳島大学を卒業し、病因の解明や治療法の開発を行う医学者になることを目指し、ただちに同大学院に進学し研究に従事しました。その後は大分県別府市でリウマチ膠原病内科の臨床研修を3年間行いました。平成11年より研究に専念すべく徳島大学にもどり顕微解剖学分野(当時解剖学第二講座)に所属し、以来、貫して解剖学の教育と研究に従事して参りました。免疫組織化学に遺伝子工学を導入するため酵素融合型人工抗体の研究や米国国立衛生研究所・国立がんセンター(NCI/NIH)に留学し、治療用人工抗体(イムノトキシン)の研究にも従事しました。

現在はこれまでの研究をベースに最新のナノテクノロジーを駆使した医学研究を行っています。最近“ナノ”という言葉が色々なところで使われていますが、医学においても“ナノ”の応用研究は凄まじい勢いで進んでいます。1マイクロメートルのさらに1,000分の1が、1“ナノ”メートルで、“ナノ”とは非常に小さな単位を意味します。しかし、この小さな“ナノ”サイズの粒子が医学の限界を破る革新的治療薬となることが期待されています。例えばナノ粒子に造影剤と抗がん剤、そしてがん細胞に結合する抗体を付加することにより、がんを早期に見出し治療ができる“ナノ”マシリン医薬として患者様にとつて負担の少ない革新的医療の実現に貢献できます。

維新ゆかりの地、山口で教育と研究を通じて幅広く人材育成に寄与し、山口大学発のトランスレーショナルリサーチ、革新的治療の確立に貢献することを目標にしております。山口大学医学部附属病院の皆様、今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

## 肝疾患相談支援室のご紹介



肝疾患診療連携拠点病院事業の一環として肝疾患相談支援室を設置しております。医師や看護師、医療ソーシャルワーカー(MSW)が患者さんやご家族の方々から面談または電話にてご相談をお受けしております。

### 相談内容

肝疾患に関する情報提供や、治療や生活に対する不安や悩みなど、お気軽にご相談ください。

例えば…

- 健康診断で肝臓の数値が高いと言われたけど、どこに受診したら良いの？
- 治療にはどんな副作用があるの？
- 治療費ってどのくらいかかるの？
- 家族が肝臓の病気と言われたけど、日常生活で気をつけることはあるの？

※相談内容の秘密は厳守いたします。

※治療について判断するところ(セカンドオピニオンなど)ではありませんので、予めご了承ください。

### 相談場所

外来診療棟1階 肝疾患相談支援室(診療連携室内)

### 電話番号

0836-85-3976(9時～15時)

### 相談日時など

区分	相談時間	相談方法	担当者	相談内容
一般相談	月曜日～金曜日(※祝日を除く) 9時～15時	面談 電話	看護師 MSW	・疾患に関する情報提供 ・生活に関する相談など
専門相談	月曜日・水曜日・金曜日(※祝日を除く) 13時～17時	面談	医師	・専門的な医療の相談など

※専門相談は一般相談の後、必要に応じて実施します。原則面談による相談としますが、場合によっては電話等に対応する場合があります。

※肝疾患についてご相談のある方は、どなたでも無料でご利用いただけます。

## 病棟リレー

各病棟を紹介します！

## 1 病棟 3 階東

1 病棟 3 階東は、集中治療部（ICU: Intensive Care Unit）です。

ICUは、呼吸、循環、代謝その他の重篤な急性機能不全の患者さんの容態を24時間体制で管理し、より効果的に集中的



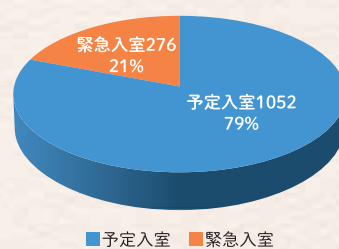
カンファレンス

に治療を行う部署です。ベッド数は12床で、医師9名、看護師42名、看護助手2名、クラーク1名と各診療科の医師や多職種が協働して集中治療にあたり、患者さんの早期回復を目指し支援しています。

ICUには、当院に入院されている患者さんが心臓手術などの大きな手術の後に回復まで少し時間がかかる場合や、一般病棟に入院して、呼吸不全や心不全などの病状が悪化した場合に入室されます。それ以外に、院外から搬送される重症患者さんは、1病棟3階西の先進救急医療センターに収容されます。

平成27年度1年間にICUに入室された患者さんの人数は、1328名で、そのうち約80%が当院での手術後の患者さんでした。残りの約20%が緊急入室の患者さんでした。

重症患者さんを管理するICUの看護師には、多くの知識や技術が求められます。治療、医療機器、ケアについて常に最新の知識が必要とされ、学ぶことも多く大変ですが、やりがいを感じ勤務しています。また緊張感のある職場だけに、スタッフ間のコミュニケーションを大切に、

平成27年度  
ICU入室患者数(1328人)

常に協力し合える体制を築いています。

大きな不安を抱える患者さん、ご家族に対しては、できるだけそばに寄り添い、コミュニケーションを図るように努めます。頑張っておられる患者さんやご家族の姿には、私達が励まされ勇気づけられます。ご家族の面会時間は、午前7時～7時30分と午後は13時～21時です。それ以外の時間でも可能な限り対応させていただきますので、集中治療部看護師にご相談ください。

## ◎「コードブルー」について

当院には「コードブルー」という全館放送が日中にかかることがあります。入院・外来を問わず、院内で患者さんの容態が急変して緊急事態が発生したことを知らせ、医療者を緊急招集する放送です。この放送があった時には、必ずICUの医師、看護師も現場に駆けつけ、迅速に対応します。

新人看護師は  
ひよこバッチを  
つけています。今年度は6名の新人看護師を迎えました。  
優秀で明るく頑張り屋の期待の星(ヒヨコ)6人です。

## 吉松師長より一言

ICUの看護師は、今年度さらに早期リハビリテーションに力をいれ、医師、リハビリテーション部のスタッフと共に取り組んでいます。ICUに入室された患者さんの退室後、退院後のことも考えられる看護を行います。皆明るく、元気で頼もしいスタッフです。



リハビリテーション

栄養治療部  
季節のレシピ  
recipe

ことは  
おらしい七夕まつり



Today's  
menu

## 瓦そば

梅雨空から解放されて、まもなく夏の夜空がにぎやかに輝く七夕です。家族みんなで七夕を楽しむのはいかがでしょう。七夕そうめんはよく知られていますが、山口には郷土料理の瓦そばがあります。今回は通常より野菜をたっぷり加えてボリュームを増やし、七夕らしく盛り付けた瓦そばを紹介します。

### 材料 1人分

● 茶そば……………80g	● 卵……………1/2個
[つけ汁]	● 油……………1g
● 醤油……………15ml	● 人参……………10g
● だし汁……………50ml	● 水菜……………30g
● みりん……………6ml	● 大根(おろし)…50g
[具材]	● ねぎ……………5g
● 牛肉……………50g	● レモン・刻みのり ……………適量
● 椎茸……………10g	● 敷き油……………2g
● 醤油……………3ml	
● 酒……………3ml	
● みりん……………3ml	

**栄養成分** エネルギー 528kcal 食塩相当量 3.0g

※醤油を減塩醤油にすると、食塩相当量1.7g

この一品で野菜が100g(1日の約1/3)摂れます。野菜をしっかり摂ることは、便秘の解消、肥満や血圧の改善に役立ちます。いろんな食材を使うと見た目も鮮やかになり、食欲も増します。色々風味や食感も加わり美味しくなることまちがいない。瓦そばは、みんなで食卓を囲むのもってこいの料理です。冷蔵庫にある野菜をたっぷり加えて、山口ならではの瓦そばをみんなで楽しんでみてください。



### 作り方

- そばを茹でる。**  
茶そばは、表示通り茹でて水を切っておく。(ゆで麺の場合は軽く湯にくぐらせ、麺をほぐしてざるに上げる)
- つけ汁を作る。**  
分量の醤油、だし汁、みりんを鍋に入れ、つけだれを作る。
- 上のにせる具の準備をする。**  
[肉] 鍋に牛肉と薄く切った椎茸を入れ醤油、酒、みりんできつ煮する。  
[卵] 卵を溶きほぐし、フライパンで薄焼き卵を作る。粗熱がとれたら、細長く切り錦糸卵を作る。  
[野菜] 人参は千切りし、水菜は食べやすく4~5等分に切る。葱は小口切りにし、大根はおろす。レモンは輪切りにする。
- 焼く。**  
熱したフライパン、またはホットプレートに油を敷き、①の茶そばを入れて炒める。表面がカリッとしてきたら、麺を器に盛り、肉、卵、野菜(人参・水菜・ねぎ)、刻みのり、レモンをのせる。ホットプレートの場合はそのまま肉や卵などの具材をのせる。  
②のつけ汁に大根おろしを添えて、お好みでレモンを絞って熱いうちにいただく。



平成28年4月29日撮影



CGギャラリーやブログなど  
随時更新しています。  
是非ご覧ください♪

再開発整備事業へのアクセス

山口大学 再開発

検索

再開発整備事業URL

<http://h-seibi.hosp.yamaguchi-u.ac.jp>



新病棟の工事用地では、杭打ち機やシベルカーなど様々な重機が搬入され、新病棟建設のための地下工事を行っています。4月末には、地下を掘り進める際に周りが崩れてこないよう地面を固定する「山留め工事」がほぼ終わり、高層棟の杭打ち工事と並行して、低層棟の基礎構築のための準備作業が始まりました。

ソフトとハードの両面から  
再開発が進んでいます。

ヒアリングの様子



病院整備計画室では、新病棟に移転予定の診療科(部)を対象に順次ヒアリングを実施しています。これは、新病棟に設置する医療機器や机・棚などの什器備品と、そのレイアウトを決定するためのものです。前述の内容を基に、扉やコンセントの位置などを確定していきます。各診療科(部)の方々は、診療などの日々の業務の合間に時間を取り、検討を重ねています。



お知らせ

お気軽にお越しください!

がん患者サロン「れんげそう」のご紹介

7月1日(金)はお休みします。

本院では、がん患者サロン「れんげそう」を開設しています。がんの患者さんやご家族の方同士が、病気や生活のことについてお互いに語り合う場です。患者同士、ご家族同士で話をすることで、病気に対する不安や悩みが軽くなることを目指しています。開催時間内は自由に入出りができ、匿名での参加も可能ですので、ご都合の良い時間にお越しください。

対象

がんの患者さんやそのご家族

開催日時

第1・第3金曜日 13:00~14:30

第2・第4水曜日 13:00~14:30

※祝日を除く

場所

患者相談室(外来診療棟1階・診療連携室の横)



編集後記

新年度が始まり、2ヶ月が過ぎました。

病院だよりの担当にS君が新たに加わり、よりおもしろい風が吹きそうな予感です。充実した紙面作りを目指してがんばります!

皆さんからのご意見・ご感想をお待ちしております。今後読んでみたいテーマ、興味のある記事などお気軽にお寄せください。

FAX 0836-22-2113 E-mail me202@yamaguchi-u.ac.jp

企画発行: 山大病院だより編集委員会

事務担当: 山口大学医学部総務課総務係

〒755-8505 山口県宇部市南小串一丁目1番1号

TEL 0836-22-2007 URL <http://www.hosp.yamaguchi-u.ac.jp>